

令和5年度 第2回豊橋市健幸なまちづくり協議会健康づくり部会 議事録

日時	令和5年10月27日 13:00～14:30
場所	豊橋市こども発達センター 研修室
出席委員	別紙「出席者名簿」参照
欠席委員	2人
事務局	豊橋市保健所 健康政策課
議長	<p>皆様のご協力を得て、議事を進行していきたいと思ひます。</p> <p>よろしくお祈ひします。それでは、議題に入ります。</p> <p>健康とよはし推進計画(第3次)(案)について、事務局から説明をお祈ひします。</p>
事務局	<p><b>【議題(1)健康とよはし推進計画(第3次)(案)について 説明】</b></p> <p>計画の説明については以上になりますが、委員の皆様から計画全体についてご意見をいただいた後で結構ですので、3点ご意見を伺いたいところがあります。</p> <p>1点目は、ICTの取り組みについてです。取り組みの方向性の中で、ICTの活用が多く出てきます。現状をまず知りたいと思ひますので、薬剤師会や大学、企業の分野でICTを活用した健康づくりの取り組みの現状はいかがでしょうか。</p> <p>2点目は、関心の薄い人への対応の中で、スーパーや学校、職場などの生活動線上に寄り添っていくことが重要だと考えています。そのため、各種団体と連携するためには、健康課題を見える化し、関心を持ってもらうことが重要だと考えています。皆様が関心のあるデータや、計画の中で経過を見ていった方がよいと思ひうデータがあれば教えていただきたいです。</p> <p>3点目は、地域職域連携がますます重要になってきていますので、企業の他にも保険者との連携も推進したいと考えています。企業では健康保険組合と連携した健康づくりの取り組みをすでに行っているのか、企業と健康保険組合の関係性を教えていただきたいです。</p> <p>私からの説明は以上になりますが、健康とよはし推進計画に一体化した母子保健推進計画については、10月25日水曜日に開催された母子保健推進部会でも意見を伺っております。引き続き、その時にいただいた意見について、事務局より、説明いたします。</p>
事務局	<p>母子保健推進部会では、健康とよはし推進計画(案)と、母子保健に関する指標の目標値についてご意見をいただきました。</p> <p>全体を通したご意見の中で、低年齢期の生活習慣は、保護者の意識や役割が大きな影響を与えるという意見がありました。具体的には、タバコに対する取り組みとして、6年生を対象に健康教育を実施していますが、もっと低学年への知識の普及ができるというお話がありました。また、母子保健としては、母親と接する機会が多く、母親を介して家族等へ</p>

	<p>情報を伝える場合が多いのですが、地域では、母親と一緒にパートナーや家族が直接専門職から話が聞けてよかったという声を聞いているということも教えていただきました。今後の取り組みに活かしていきたいと思っています。</p> <p>指標へのご意見としては、基本方針1の『朝食の欠食率の低下』や、『身体活動と運動に関する項目（1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合の低下）』について、メディアの利用時間増加による生活リズムの乱れや、体を動かして遊べる環境や時間が減少している現状、こども同士の関わりやチャレンジできる機会の減少といった、現在の生活状況がこどもたちに与える影響もあって、容易に達成できる目標ではないが、目標に向けてどう取り組んでいるかが重要ではないかという貴重なご意見もいただきました。</p> <p>正しい知識の発信や、健康づくりに働きかける効果的な時期や方法について、本日のご意見を踏まえて検討していきたいと思っています。</p>
議長	<p>健康とよはし推進計画の説明を聞いて、委員の方から何かご質問ありましたら、お伺いしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>以前から、豊橋市は糖尿病の罹患率が全国に比べて高いということは、お伺いはしておりました。なぜ、他の地域と比べて高いのか、一歩踏み込んだ解析を豊橋市で実施されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>豊橋市ならではの交通機関の状況や生活習慣が関連していることは予想できますが、交通機関の状況や生活習慣が糖尿病に直接的な関連があるかという調査はできない状況です。例えば生活習慣を調査しても、その結果をどのように解析して、結果に結び付けていくかは、かなり専門的な知識を要するので、把握できていない状況です。</p>
委員	<p>経緯というのは一つではなくて複合的なものではあると思うので一概に一つと言えないと思います。しかし、例えば同じように糖尿病の罹患率が高い他市町村をピックアップして、共通項を見つけていくような形であれば、さほど専門的な知識がなくてもできるのではないかと思います。また、傾向を把握することはできるのではないかと思います。</p> <p>糖尿病の啓発をするだけでなく、踏み込んだ内容を、市民の方にお伝えできると、より良いのではないかと思いますので、ご質問させていただきました。</p>
議長	<p>内科医の立場から言うと確かに車社会ですので、どうしても運動不足に</p>

委員	<p>なるということはあると思われます。豊橋市はウォーキングの取り組みをしていて、土日には皆で歩くようなイベントもあるので、運動を始めるきっかけになるかなとは考えております。</p> <p>その他に、ご質問はありますか。</p> <p>バランスの良い食事のコラムを掲載していますが、このコラムのようなことを周知すること、また、病気になった場合の食事や、病気になる方の食事の傾向等をお知らせすることも良いのではないかなというふうに思います。</p> <p>糖尿病について、計画の施策の展開の部分で、基本方針1の計画のうち、6項目に、糖尿病という言葉が入っています。糖尿病予防に関する資料や歯周病が糖尿病との関連が高いというデータもあるため、そういった資料も反映されると良いのではないかと思います。</p>
議長	<p>その他のご意見はよろしいですか。</p> <p>先ほどの事務局から提案があった3点のうち、ICTの活用した健康づくりの取り組みについて大学の委員から意見を聞かせてもらってもよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>学生に対してICTを活用した取り組みは全く実施していない状況です。ただし、ウェアラブル端末のような3次元の解析装置等を使っている学生や職員は多いように思います。しかし、常時、その端末を使って健康に関して何か取り組んでいる状況ではないと思われます。また、得られたデータを活用もできていないイメージがあります。なぜなら、取得できるデータが多く、何をどう使っていいかわからないと思います。使っている人に聞いてもデータをあまり活用できていない状況です。</p>
委員	<p>ICTの取り組みは特にはないところが現状です。</p> <p>ただし、学生などに話を聞くと、食事の写真を撮ることで、その場で食事のカロリーかわかるアプリ（あすけん）があるようで、ダイエットをしている学生はアプリを活用して自分の摂取エネルギー等を確認しているようです。まだ少数派なので、今後、このようなアプリ等をうまく使っていくと、ちょっと面倒なエネルギー計算等が簡単にでき、摂取エネルギーの目安にはなり、エネルギーの過剰摂取等には活用できるのではないかと思います。</p>
委員	<p>薬剤師会としては、薬局に来る患者さんのマイナンバーカードの利用が、一番のデジタルトランスフォーメーションの部分になると思います。</p>

<p>委員</p>	<p>しかし、現状では、マイナンバーカードを持って来る患者さんや持ち歩いている患者さんが少なく、さらに薬局でマイナンバーカードを提示し、データを提供していただけるケースは、おそらく1%を切っていると思われる。利用推進の啓発は国の事業にはなるとは思いますが、市町村単位でも、積極的に関わっていただければとは思っています。</p> <p>ICTを使って健康づくりに取り組んでいる企業は非常に少ないと思います。豊橋市の場合は、中小企業が多く、上場企業のようにお金をかけて、自らが、職員のためにICTのシステムを導入することは困難です。市内の中小企業の中で、独自のICTを使って健康づくりをやっている企業をあまり聞いたことがないです。</p> <p>ただし、豊橋市が導入しているあいち健康プラス（とよはし健康マイレージ）をベースにして、社内で健康に関する取り組みをしている企業が非常に多くなってきています。また、商工会議所も、健康経営を企業に一生懸命PRしており、登録数も増えています。登録している企業は、とよはし健康マイレージを使って、積極的に健康増進のための取り組みを実施していると思います。</p> <p>今後、可能であれば、豊橋市がこのマイレージ等を使って、健康管理の話や、啓発したい情報を提供していくような仕組みを作っていただければ、企業は、それを使っていくと思います。ぜひ、ステップアップしていただいて、歩数管理だけではなく、市のイベントに参加するとポイントがつくように、企業が健康に関する研修会を開いて、その企業の職員が参加した場合もポイント付与になるなど、ポイント付与の範囲を広げるようにするなど、拡大していくのが一番効率的ではないかと思えます。</p> <p>企業側が仕組みを作るお金はないため、今の内容からグレードアップさせて、皆さんに使ってもらってという形が良いのではないかと思います。</p> <p>このアプリを使って、糖尿病の方をある程度限定できれば、その方を対象にどんどん情報提供ができるということになります。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほどICTの部分で、マイナポータルを利用して、今後、啓発等、行っていくということでしたが、国の方針や、何か具体案があるのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>健康日本21の中でも、ICTの活用は推奨されており、豊橋市もICTを活用した取り組みをなるべく広げていきたいと思っております。</p>
<p>議長</p>	<p>では次に、今後注意してみたいデータや、気になるデータ等、各委員の皆さんの立場でご意見がありましたらよろしくお願いします。</p>

<p>委員</p>	<p>この計画の一番の目的は健康寿命の延伸・健康格差の縮小だと思いますが、健康寿命の延伸を表す数値や表を示すべきではないかと思います。65歳の方が、何年健康でいられるかという数字だけではなく、65歳以降の人達がどのような対策によって、例えば75歳以降の健康寿命がどの位伸びた等のデータも重要ではないかと思います。</p> <p>50歳くらいまでは健康に関して考えることが少ないが、65歳くらいになってくると、自分があと何年生きられるか、健康に生活できるかと考え始めます。色々な情報を仕入れて、自分の体を気づかうようなことが始まるのが65歳なので、意識が向いた時期から10年後の75歳ぐらいの人たちの健康寿命が、10年間の対応によってどうなったのかもすごく大切なのではないかと思います。</p> <p>健康格差の縮小について説明を受けましたが、どういうところが縮小すれば、健康格差の縮小につながるのかなど、一般的にわかりにくいと思います。具体的に健康格差の縮小を示す表や数値があると良いと思います。</p> <p>健康寿命と健康格差は、この計画の目的であるため、データで示すことができないと、事業展開の結果から良くなったと言えないと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>住んでいるだけ、使っているだけで、今まで健康への関心が薄かった人々が、健康への関心が高い人達に近づいていけるような環境を作るといったイメージです。現時点では、健康格差の縮小を示す指標（数字）は、掲げておりません。</p>
<p>委員</p>	<p>健康格差の縮小の部分を確認してかないと、目標に設定しているのに、評価もできない状況になります。健康寿命の延伸と健康格差の縮小が見える化するために、数値等を入れていただければと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございます。その他、ご意見がある委員はどうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>健康寿命の延伸に関して、今回の計画の中でICTや健康への関心が薄い人、地域と職域の連携等の対策を取られるってことですが、いわゆる自己管理の部分の話になると思います。</p> <p>健康増進のためには、やはり早期発見・早期治療、予防も必要です。</p> <p>自覚症状がなく進行する病気もあるため、特定健診等の健診受診率と、病気等に相関を見出すのは難しいとは思いますが、そういったデータもあると、わかりやすいと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>実施したアンケートについてですが、データを比較するときに、10歳毎の年齢区分で比較しています。アンケートの実施間隔が5年毎であるた</p>

	<p>め、5歳毎の年齢区分で比較すると、もともと喫煙率や飲酒率が低かった世代がそのまま年齢があがり、その世代の喫煙率や飲酒率が下がっているのか、或いは、次の世代が下がったのか等が、今よりも比較しやすいのではないかと思います。また、ターゲットを明確にできるのではないかと感じました。</p> <p>また、若い人の自殺が結構多いと感じました。コロナ禍で、若い世代もひとり暮らし等で孤独を抱えている人がいます。家族がいれば、健康にも気を付けますが、自分1人だとあまり関係ない（健康を気にしない）。孤独対策や、多世代が集える場のような場所（居場所）があると良いと感じました。</p>
議長	<p>それでは次に、行政と企業との連携や、企業や健康保険組合との連携について意見はございますか。</p>
委員	<p>健康保健と企業とは密に連携を取っていると思います。企業からの話を聞くと、保険者、企業、行政の3つがうまく連携しながら、どの様に個々に動いてもらうかの検討などが大分できてきているような気がします。</p> <p>商工会議所も健康保険関係者に入っていて、企業の方とどう取り組んでいくのかは話しています。</p> <p>健康についても、3者がしっかりと連携してやっていくべきことではないかと感じます。</p>
議長	<p>皆さんの中で、ご意見とかございますか。</p>
委員	<p>「野菜食べたりするといいよ」とか、「こういった制度が増えているよ」とか、「野菜に含まれているこういうものが、生活習慣病のこういうところに効くんだよ」という研究がすごくたくさんされていますが、研究結果等を、スーパーマーケットなどで掲示したくても、食品表示の関係で難しい現状があります。論文化されているものが、もう少しスーパーマーケット等のポップ等を書くことを規制を国に緩くしてもらいたいと思います。そうすれば、関心の薄い人でも買い物には絶対行くので、買い物先の食品売り場や野菜売り場、果物売り場で、野菜を食べる効用等が伝えられるのではないかと思います。</p>
議長	<p>医師会の立場からお話をさせていただくと、現行、健康寿命といいますが健康格差の縮小ということで、いろんなICTを高齢の方に使っていただくことが良いといわれています。今後、高齢化も進み、在宅医療の方が増えていくと思われます。医師会、各診療所、患者さん、医療福祉サービス</p>

事務局	<p>事業者との関わりの中で、やりとりをするツールとして電子連絡帳を活用しています。医師会の中で皆が活用しているというわけではないですが、訪問看護と市が電子連絡帳を使用して連携しているとも聞いています。今後も豊橋市との連携を含め電子連絡帳の活用を進めていきたいと思っています。</p> <p>健康とよはし推進計画では、電子連絡帳の事は掲載していませんが、福祉部が作成している福祉計画では、電子連絡帳の活用推進を掲げており、登録者数等を目標値として取り組んでおります。</p>
議長	<p>その他、各委員から何かご意見や、お聞きしたいことがありましたら、お願いします。</p>
委員	<p>健康とよはし推進計画など全体的な計画を作るときには、全部を網羅できるように作成すると思います。しかし、成果を出すためには、計画の中でどこに注力するかを示した方がよいと思います。例えば、この5年間については、この施策にしっかりと取り組まない目標達成にならないだろうという部分が絶対出てくると思います。人力もお金も限られていますし、予算も削られたりしていると思うので、どこに注力するかを示すことで市の職員配置や、予算の取り方も変わってくると思います。注力する部分を示さないと、結局総合的になって、どれも成果が少しずつしか出ない事になってしまい、最終的な目標の達成率があがらないことになると思います。</p>
議長	<p>事務局の方でご検討いただければと思います。</p> <p>他の委員の方からはよろしいでしょうか。</p> <p>それでは事務局から何かございますでしょうか。</p>
事務局	<p>今日は、皆様方に協議いただいた中で、ICTのところ等、いろいろとご意見いただきました。今年度、健康政策課でICTを使った、野菜摂取の取り組みをしておりますのでご紹介させていただければと思います。</p> <p>今年度、市内の2つのモデル校区（向山校区・福岡校区）で、市民の野菜摂取量を増やす取り組みを実証的に行っております。</p> <p>具体的には、手をかざすと数秒で野菜の摂取量がわかる推定機器を、2つのモデル校区の小学校とスーパーに設置しています。</p> <p>小学校ではその機器を活用して、栄養教諭による食育授業を行っており、スーパーでは、野菜売り場にその推定機器を設置し、買い物客が測定した結果、野菜摂取量がちょっと少ないと思ったら、すぐ野菜が手にとれ</p>

	<p>るというような工夫をしています。</p> <p>またモデル校区内の希望者に、尿検査で栄養摂取状況がわかるキットを配布し、住民の栄養摂取状況分析も行っています。</p> <p>野菜摂取測定機器の集計結果が、現在、少しずつ出てきていますが、測定者の約8割が野菜摂取量不足ということがわかっています。</p> <p>尿検査による栄養摂取状況については、現在、分析中ですが、葉酸が不足している、ナトリウムを取り過ぎているということがわかっています。</p> <p>今後、分析結果がまとまりましたら、住民向けの説明会を実施して、野菜摂取のコツ等を栄養セミナーでお話をしていく予定です。</p> <p>来年度以降も引き続き、全市的な取り組みを目指しておりますので、学校や自治会と連携して、実施を継続していく予定です。</p>
議長	<p>具体的なところで質問ですが、何を見ると、野菜摂取量がわかるのか教えてください。</p>
事務局	<p>対象者のカロテノイドの量を皮下量として測定する装置です。あくまで推定機器ですので、すごく正確というわけではないです。カロテノイドですから、色の濃い緑黄色野菜をたくさん食べていると数値が高く出やすいという傾向があるようですが、緑黄色野菜を食べてる方は、往々にして淡色野菜を食べているだろうという前提のもと、野菜摂取の推定値が出るという器械です。</p>
議長	<p>わかりました。ありがとうございます。あと、事務局の方から何かありますか。</p>
事務局	<p>今後のスケジュールについて説明をさせていただきます。</p> <p>健康とよはし推進計画の資料でも掲載しておりますが、12月に議会で説明をさせていただいて、1月にパブリックコメントで市民から意見を聞かせていただきます。そして2月に、健康のまちづくり協議会で、最終の意見をいただいて、3月に公表という形になります。</p>
議長	<p>以上で本日の案件は終了いたしました。全体を通じてご発言等があればお願いします。</p> <p>他にご意見がないようでしたら、これにて議事が全て終了となります。</p> <p>皆様のご協力により会議が円滑に進みましたことをお礼申し上げます。これをもちまして議長の任務を終わらせていただきます。</p> <p>では、議事を事務局に戻させていただきます。</p>

事務局	<p>本日は貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>今後も皆様方のご協力をいただきながら、市が一体となって健幸なまちづくりを進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>これもちまして、「令和5年度 第2回豊橋市健幸なまちづくり協議会健康づくり部会」を閉会いたします。ありがとうございました。</p>
-----	---